

宝山鋼鉄と現代重工  
戦略的パートナーシップを締結

■6・5

宝山鋼鉄は、韓国の現代重工と戦略的パートナーシップに関する合意書を締結した。

宝山鋼鉄は現代重工に年間三〇万〜五〇万トンの造船用鋼板を供給する。これは現代重工の総需要量の一〇％に相当する。

両社は船舶エンジン用特殊鋼などの分野でも協力する計画。

COSCOコンテナラインズ  
超大型コンテナ船八隻を発注

■6・9

COSCOコンテナラインズは、一万三三五〇TEU型コンテナ船八隻の発注を決めた。投資額は十三億米ドル（一三九一億円）。

南通中遠川崎船舶工程に発注した。二〇一三〜一三年に引き渡しを受ける予定。

米シユナイダーナショナル  
天津に物流会社を設立

■6・10

米国の大手積み合わせ輸送業者シユナイダー・ナショナルは、傘下企

業を通じて天津市東疆保税港区に「世能達国際物流（天津）」を設立したと発表した。会社設立の登記を完了した。

シユナイダーは二〇〇六年に中国に進出。上海と天津に拠点を設置し、国内輸送、ロジスティクス・サービス、コンサルティング・サービスを提供してきた。

武漢市

保税物流センターの設置申請

■6・12

湖北省武漢市は、中国国務院に保税物流センターの設立を申請したと発表した。早ければ今年下半期にも設立の認可を取得する見込み。

香港空港の五月の貨物取扱量  
六％増の三二万四〇〇〇トンに

■6・13

香港空港管理局によると、今年五月の香港空港の貨物取扱量は前年同月比六・七％増の三二万四〇〇〇トンとなった。

また、旅客数は八・三％増の四一〇万人だった。

一〜四月の社会貨物輸送量  
十一％増の七五億トンに

■6・15

中国統計局によると、今年一〜四月の中国の社会貨物輸送量は前年同期比十一・三％増の七五億二五〇〇万トンとなった。

沿海主要港湾の貨物取扱量は一五・二％増の一四億二三〇万トン。そのうち外国貿易貨物取扱量は十一・三％増の五億九六〇〇万トンとなった。

また、社会旅客輸送数は五・八増の七七億六三〇〇万人だった。

ドイツ鉄道

北京〜ハンブルクで鉄道輸送開始

■6・17

ドイツ鉄道は、今年中に中国・北京〜ドイツ・ハンブルク間でコンテナ専用列車の運行を開始する。ユーラシア大陸を横断する鉄道輸送により、アジア〜欧州間の輸送時間の大幅な短縮を目指す。

アジア〜欧州間の輸送日数は現在主流の海上輸送では三〇日以上だが、一五日に短縮する。列車一編成で最大一四〇TEUの輸送が可能。総運行距離は約九八五〇キロメートルとなる。

シノトランス

大韓航空との貨物航空会社が開業

■6・18

シノトランスの子会社シノトランスエア（中外運空運）と大韓航空、韓亜投資、新韓投資による合弁会社、銀河国際貨物運送航空が営業を開始した。

中国民用航空総局華北地区管理局から、運航合格証を取得した。中国国内・国際航空貨物運送業務、輸出入サービス、地上サービスなどを行う。

福建省主要港湾の貨物取扱量

今年一〜五月は一億七〇〇万トン

■6・19

福建省交通庁によると、今年一〜五月の同省主要港湾の貨物取扱量は、前年同期比十三・二％増の一億七〇〇万トンとなった。

そのうち、コンテナ取扱量は十一・六％増の二九二万六九〇〇TEUだった。

中国とカザフスタン鉄道

コンテナの鉄道輸送会社を設立

■6・21

中国鉄道部とカザフスタン鉄道会社は、コンテナ貨物の鉄道輸送を行う合弁会社の設立で合意したと発表した。

新会社「中国・カザフスタン鉄道コンテナ運輸」には中鉄コンテナ運

輸の傘下企業、中鉄国際多式聯運とカザフスタン運送サービスが出資する予定。

### 中国国際航空の旅客輸送量 四川大地震の影響を受け減少

■6・22

中国国際航空によると、今年五月の同社の旅客輸送実績は前年同月比一〇・七%減の二六七万人となった。五月十二日に発生した四川大地震のため、約九八〇便を欠航したことが影響した。

### 中国船舶工業集団 広州に船用エンジンの生産拠点

■6・24

中国船舶工業集団(CSSC)は、広州市番禺区に船舶用エンジンなどの生産拠点を設立すると発表した。広州市人民政府と契約を締結した。投資額は二七〇億人民元(四三二〇億円)。

低速ディーゼルエンジン、ディーゼルエンジン付属製品や船用補助機械などを生産する予定。

### 北京〜天津間高速鉄道 試運転で時速三八〇キロを記録

■6・25

北京〜天津間高速鉄道の試運転が始まった。最高時速三八〇キロメートルを記録し、北京〜天津間を二七分で走行した。

同鉄道の運行距離は一五・二キロメートル、設計速度は時速三〇〇キロメートル。総投資額は一一〇億人民元(一七六〇億円)。

営業開始は八月一日。一時間当たり最大一万八〇〇〇人を輸送する計画。

### 華東・華南地区豪雨 道路インフラ破損し物流に影響

■6・25

五月からの華東・華南地区での豪雨により発生した水害は、上海、広東など十二の省・市に及んだ。中国交通運輸部が発表した。

高速道路一本、国道三本、省道七本など、累計一五九五キロメートルの路面と三〇の橋梁が損壊し、道路インフラに大きな被害をもたらした。

### ユナイテッド航空 広州線の開設を一年延期

■6・26

米運輸省は、ユナイテッド航空が今年六月に開設を予定していたサンフランシスコ〜広州線の就航を一

年延期すると発表した。

原油価格の急騰により、運営コストが当初計画よりも大幅に増加する計算になったため。

### COSCO ギリシャ港湾運営権を獲得

■6・27

COSCO(中遠集団)は、ギリシャ・ピレウス港のコンテナターミナルの二バースの運営権を獲得した。バース2とバース3を運営する。運営期間は三五年。

### 深圳港の一〜五月貨物取扱量 一四%増の八七六五万トンに

■6・28

深圳港の今年一〜五月の貨物取扱量は、前年同期比一四・二五%増の八七六五万二一〇〇トンとなった。コンテナ取扱量は八・〇%増の八四二万三六〇〇TEU。そのうち、五月単月では前年同月比六・一%増の一七六万TEUとなった。

### 厦門太古着陸装置修理維持 営業を開始

■6・29

航空機の着陸装置のメンテナンスと関連システムなどを提供する厦門

太古着陸装置修理維持は、福建省厦門市で正式に営業を開始した。

主にキャセイパシフィック航空(国泰航空)、日本航空(JAL)や中国大手航空会社、アジア各国の航空会社向けにボーイング737、747、777型航空機の着陸装置のメンテナンスを行う。

同社は香港飛行機工程と航空会社など八社により設立。出資比率は香港飛行機工程が五〇%、厦門太古飛行機工程が一〇%、国泰航空工業、台湾中華航空、JALがそれぞれ八%、厦門航空工業が六%、陝西燎原液圧と西安飛行機国際航空製造がそれぞれ五%。

### プロロジス 二〇億ドル投じ開発拡大

■6・30

プロロジスは、二〇一〇年までに約二〇億米ドル(二二四〇億円)を投じ、中国国内の物流施設開発を拡大する計画だ。

同社によると、中国で開発した倉庫の賃貸成約は順調に進んでいるという。重慶の「プロロジスパーク重慶」と上海の桃浦地区に位置する「プロロジスパークノースウエスト」の倉庫の入居率は一〇〇%に達し、「プロロジスパーク成都」も六〇%となった。

為替レート：1ドル=107円 1元=16円